

年代別に見る

# 貧困対策の取組を知る

## 貧困対策調査グループ

- \* 子ども担当：角田郁夫 小田充代
- \* 中間層担当：鈴木富子 真下真帆
- \* 高齢者担当：阿部智美 峰川昌子

平成30年11月26日

貧困・生活困窮 → 生活保護 最終手段？

生活保護になる前の自立支援が重要

生活保護以外のセーフティネットって…

どんなものがあるの？

沼田ではどうなってるの？



生活保護前のセーフティネットを上手く活用すれば、  
もっとみんなが暮らしやすくなるのでは？

★生活保護になる前に使える制度を調べてみよう！  
公の制度・NPO等民間の取組など貧困対策の実態

年代別に調べてみました

制度提供側から調べてみました

- 子ども（18歳未満）
- 中間層（18～64歳）
- 高齢者（65歳以上）

# ★子どもについて (18歳未満)



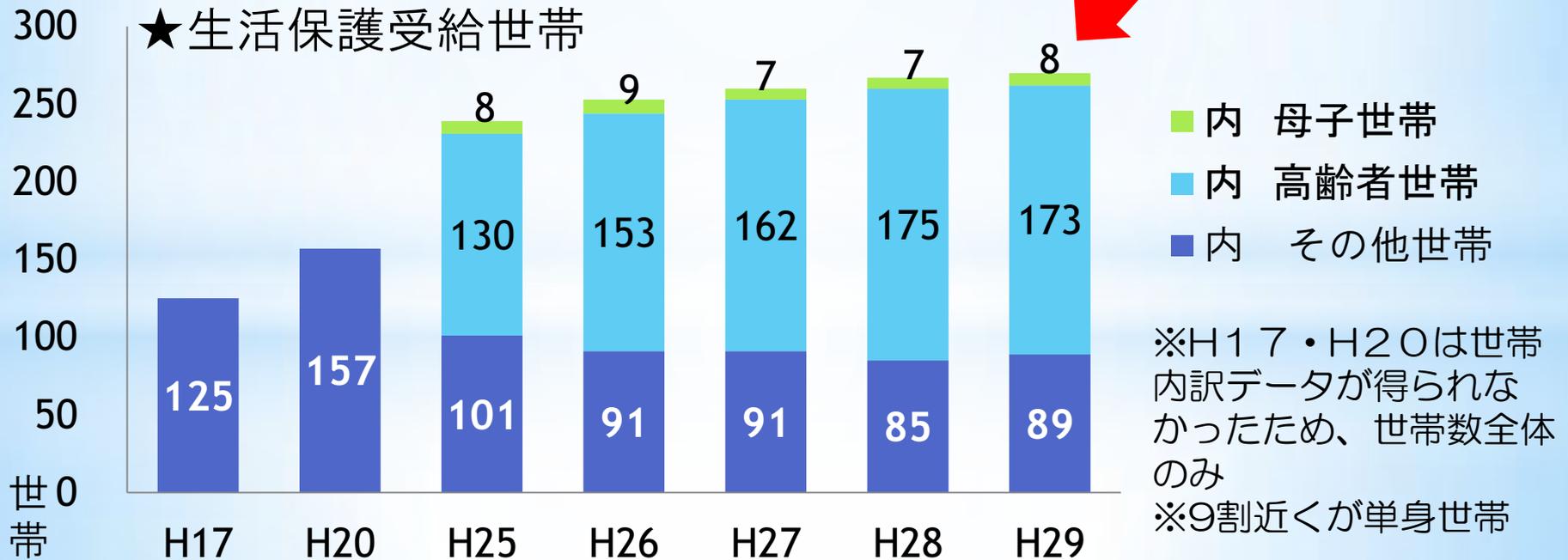
# ★子どもについて

★市役所(子ども課・社会福祉課)を取材しました

## 生活保護

H29年度

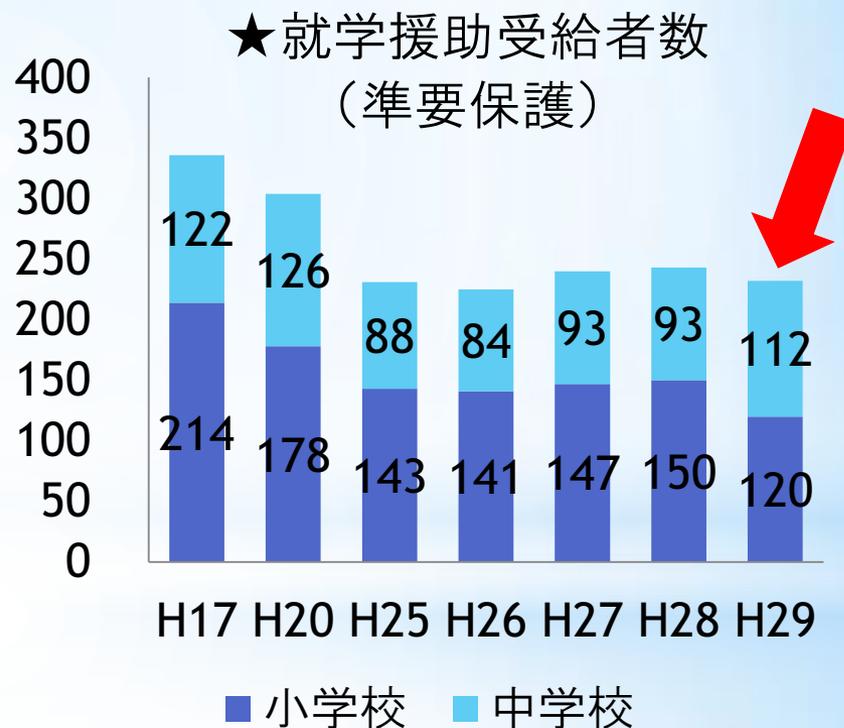
- ・生活保護受給者 315人 保護率 0.65%※県平均0.77%
- ・世帯では 270世帯(高齢者173、母子家庭8、その他89)



### ◆沼田市内の子どもがいる生活保護世帯

…ほとんどがシングルマザーで、病気(精神疾患含む)のため働くことができず就労支援の対象外

# ◆就学援助費(小・中学生対象)からみた生活保護、受給者数



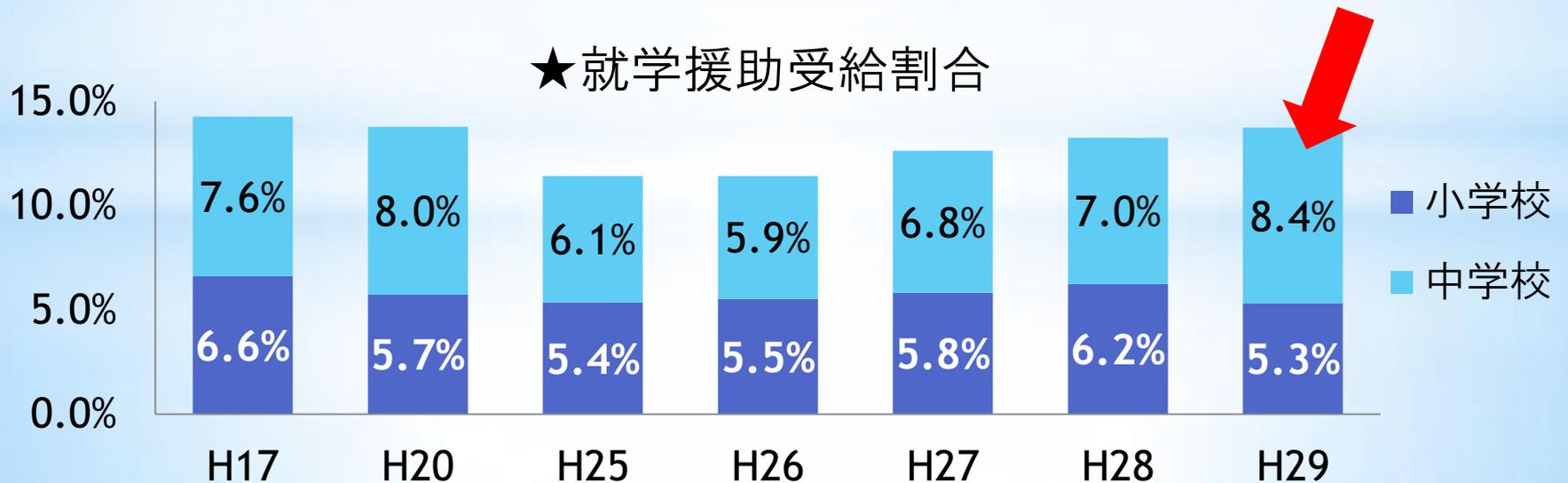
H29年度

- ・生活保護 7名(小学生3、中学生4)
- ・準要保護(生活保護に準ずる)232名(小学校120、中学校112)
- ・就学援助受給割合(小学校8.4% 中学校5.3%)

★児童・生徒数 5/1現在



★就学援助受給割合



◆ 生徒数は減少しているが、受給割合はH27年度から上昇

# 分かったこと

◎民間ボランティアの活動が活発化している。

子育て支援団体等が学習支援、食の支援、遊びの支援、交流の場などの項目の、一部あるいは複数の支援を行っている。

例えば

蔵ふと（集いの場）

**NPO**法人利根沼田地域ボランティアセンター

（沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会）

**NPO**法人みんなの太助さん（群馬県子どもの生活・学習支援事業）

特別養護老人ホームくやはら（みんなの食堂）

**NPO**法人結いの家（DV・貧困・虐待等の身体的・精神的支援・  
無料学習塾と「まちの子ども食堂・沼田」）

など



## 分かったこと 2

◇子どものいる生活保護世帯は、ほとんどが病気のシングルマザーのため、就労困難

…医師、母子・父子自立支援員、民生・児童委員、ハローワークなどチームでの対応が必要

健康向上・仲間作り・そして就労支援へ

◇相対的貧困家庭や生活保護受給家庭の子ども世帯収入と進学率の比例関係

…幼児から高等教育段階まで切れ目ない支援や指導を「夢と希望」を持てるように

**貧困の連鎖を断ち切る**



★中間層について  
(18~64歳)

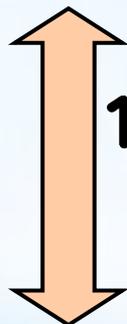


# ★中間層について

福祉制度の主な対象



★子ども 18歳未満



18~64歳 =

★高齢者 65歳以上

★障がい児・者

★生活困窮者

現役世代？  
働ける人達？



サポートは十分でない  
でも実際は…

働きたくても働けない…  
働いていても非正規…



収入が安定しない

引きこもりの高齢化

ニート

長期化しない

貧困の連鎖を断ち切る

生活困窮に陥る前に

## → 安定した就職の支援

★どんな支援があるのか取材しました

### ◆ ぐんま若者サポートステーション(厚生労働省委託事業)

・前橋テルサ5階 月曜～金曜・第2・4土曜 10時～18時

対象:若年無業者(15才～39才)

働く準備ができる場所、継続的に就労を支援

いずれも無料(または安価な料金)で利用できる。

継続的に支援してくれる。

### ◆ ジョブカフェぐんま(群馬県若者就職支援センター)

・利根沼田振興局4階 月・水・金 8時半～17時

若年層の正社員化を支援(～40才代前半)

仕事のあっせんも。ワンストップ型、継続的に就労を支援。

各関係機関で連携もとれている様子

地域によって支援にばらつきあり。  
北毛には支援の手が届いていない現状も。

### 民間の取組

### ◇ アリスの広場(NPO法人 ぐんま若者応援ネット)

・前橋市南町 火曜～土曜 10時～18時

不登校、ひきこもりの若者の居場所(おおむね30才まで)

利用料金:1回500円

40才以上の無業者の方がより深刻  
国もその対策に取り組み始めたところ

# 分かったこと

制度や機関が整っていても... つながらない  
使えない



周知の方法

...必要な人に情報が届いていない

言葉の問題

...専門用語が難しい

対象が細分化

...自分が対象なのかわからない

制度を使うハードル

...申請手続きが困難(窓口へ来所必要:  
交通手段、必要書類の記入・準備など)

機関の横の連携

問題を「見える化」し、  
トータルに捉えることが必要

つながらない  
使えない

...を何とかしたい!

**誰も「孤立させない」**

## 参考：海外ではこんな取り組みも・・・

### ■「孤独担当大臣」新設(イギリス)

- ・・・「孤独が人の肉体的、精神的健康を損なう」と警告、肥満や喫煙よりも有害であると考え、対策を講じる。

### ■「ネウボラ」(フィンランド発祥)

- ・・・妊娠期から出産、子どもの就学までの間、母子・家族を支援。  
継続的に支援、窓口を一元化

### ■ベーシックインカム(フィンランド等で試験運用)

- ・・・最低限必要な所得を無条件に給付



# ★高齢者について (65歳以上)



# ★高齢者について

## 生活保護

H29年度

- ・生活保護受給者 315人 保護率 0.65% ※県平均0.77%
- ・世帯では 270世帯(母子家庭8、高齢者173、その他89)



◆沼田市内の生活保護世帯の 約3分の2は 高齢者世帯

## 高齢者の貧困

収入がない。少ない。  
貯蓄がない。少ない。  
孤立している。



## 「下流老人」

…生活保護相当で暮らす、  
またその恐れがある高齢者  
約700万～1100万人と類推。  
今後も増える傾向

★藤田孝典さんの講演より

## なぜ、そうなるのか？

- ・現役時代から低収入、低貯蓄。 → 高齢期にも継続
- ・貯蓄があっても平均余命、家族構成、災害被害、長期入院・入所等により、存命中に貯蓄が枯渇するリスクもある。

…誰にでも起こりうる！



# 分かったこと

生活保護 = 「福祉」から…



財政難

- ① 自立支援
- ② 地域での共助・互助へ

## ① 自立支援

**就労**

いかに就労期間を引き延ばしていくか  
生涯現役社会・一億総活躍社会の実現

- ◆ シルバー人材センター …会員制。生きがい就労を目的
- ◆ ハローワーク生涯現役支援窓口 …一般高齢者への就労支援
- ◆ シニアワークプログラム …55歳以上の求職者向け雇用前提の技能講習
- ◆ 高年齢退職予定者  
キャリア人材バンク …定年退職2年以内  
の在職者を対象



## ② 地域での共助・互助 へ

### 地域包括支援体制

お互いさまのまちづくり  
地域共生社会の実現

地域包括ケアシステム・地域コミュニティ・NPO法人・ボランティア団体などが参画することで、縦割りシステムを連携して支援サービスを提供するシステム

なぜ必要？

生活困窮者の多くは、複合的な問題を抱えているため問題解決には、**包括的な対応**が必要

★社会的弱者も支援の担い手になる。

→ 社会的弱者の**孤立防止**効果も！



いつまでも元気に地域で暮らす

## ★グループまとめ

貧困の連鎖を断ち切る

誰も「孤立させない」

いつまでも元気に地域で暮らす



提案します

## ◆地域と行政が連携して地域コミュニティ力を高めていく。

- ・困っている人を孤立させないためには、行政・専門家だけでなく、地域住民の日常的・継続的な関わり、見守りをするのが大事。
- ・早めに相談できる地域環境づくり。

## ◆行政が民間ボランティアをサポートし、より活動しやすい環境づくりをする。

## ◆市役所に気軽に相談できる「なんでも相談」窓口を設ける。

- ・市民に各種制度を、よりわかり易く広報し、弱い立場の人が早い段階で、気軽になんでも相談できる窓口を設ける。
- ・「ジェネラルソーシャルワーカー」を設置する。
- ・困りごとからたどっていける「フローチャート」を作成する。



**必要な人が有効に制度を利用できる**





## 年代別には

### 子ども

★生活保護世帯(病気のシングルマザー)には、関係機関が連携して支援をする。

### 中間層



★現役世代でも働けない状況の人に、就労へのサポートを充実させ、働く場・環境づくりに行政と民間が連携して取り組む。

### 高齢者

- ★健康づくりのための介護予防事業を充実させる。
- ★「お互いさまのまちづくり」(地域で支える体制づくり)を定着させる。